

南海トラフ巨大地震に対応した 代替輸送訓練《図上訓練》の開催案内

<訓練の背景と目的>

東日本大震災では、日本海側地域の港湾が東北地域の代替機能を果たしました。

今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震などにおいて事業継続を確実なものとするためには、自らの復旧のみならず、同時被災確率の少ない日本海側に代替生産拠点及び供給先への代替輸送ルートを確認し、サプライチェーンを維持する代替戦略が必要です。

北陸地域国際物流戦略チーム（北陸地方整備局・北陸信越運輸局）は、代替輸送を確実なものとするため、代替輸送訓練を平成25年度より継続して実施しています。

訓練では、供給先への代替輸送ルートの確保等について、物流が途切れた場合にどのような問題が生じるかなど、災害発生時を模擬体験することにより経験値の向上を促進します。

<訓練で養う3つの力> ~サプライチェーンを維持し、国際競争力を維持するために~

- (1) 被害想定に縛られない発想力（柔軟な考えを養う）
- (2) 被災時の利益を考えた企業の戦略力（発想の転換を養う）
- (3) 情報を待たない判断力（現場の判断力を養う）

<タイムスケジュール>

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 13:00~13:05 | あいさつ |
| 13:05~13:30 | 情報提供・オリエンテーション1 |
| 13:30~14:30 | 第一部:代替輸送手順確認訓練 |
| 14:30~14:40 | 休憩 |
| 14:40~15:00 | オリエンテーション2 |
| 15:00~16:00 | 第二部:模擬災害体験演習 ※見学可能（申し込みの先着30名） |
| 16:00~16:30 | 反省会、講評 アンケート実施 |

■日時：平成30年11月13日(火) 13:00~16:30 (12:30受付開始)

■場所：名古屋市中村区那古野一丁目47-1
名古屋国際センター 4階 第2展示室

■対象：荷主、商社、港運事業者、陸運事業者、行政、研究機関など

<以下の様な企業の方は是非ともご参加下さい>

- ・災害時の代替戦略をまだ検討していない企業
- ・自社で策定したBCPを検証したい企業
- ・これから海外輸出・輸入を検討している企業
- ・直接輸出入に関わっていないが代替輸送に興味がある企業

■定員：100名(事前申し込みが必要。定員100名になり次第締め切りさせていただきます。)

■申し込み方法：FAX又はEメール(〆切：11月6日(火))

※演習の見学を希望される場合は、参加申込書に記入をお願いします。

■参加費：無料

■主催：北陸地方整備局、北陸信越運輸局

■共催：内閣府

■後援：名古屋商工会議所、岐阜商工会議所

企業活動にとって有用な訓練として頂くため
協力企業にもお声がけを頂きまして、ふるってご参加ください。

ご参加を希望される方は、ご記入の上 FAX または E メールでお申し込みください。

Fax : 03-5408-8741 E-mail : ishiyama@wave.or.jp

11 月 13 日(火) 南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練 参加申込書

※「模擬災害体験演習」の見学を希望される場合は、余白等にその旨ご記入をお願いします。

(見学は申し込みの先着 30 名とし、人数によっては事務局で調整させていただくことがあります。)

御社名		
ご住所	〒	
電話番号	FAX 番号	
E メール		
参加者名	部署・役職名	ご氏名
	部署・役職名	ご氏名
	部署・役職名	ご氏名
	部署・役職名	ご氏名
	部署・役職名	ご氏名

(問い合わせ: 一般財団法人みなと総合研究財団 石山・安田 TEL:03-5408-8294)

GKK

「必要なときに必要な商品を、大規模災害時にも届けられますか？」

北陸地域国際物流戦略チーム※は「大規模災害時の事業継続のための支援」を行っています。

※経済団体、物流団体、港湾関連会社、学識経験者、諸官公庁等から構成されている組織
(事務局 国土交通省 北陸地方整備局・北陸信越運輸局)

「大規模災害時の事業継続のための訓練・演習を実施していますか？」

事業継続を確実なものとするため、日本海側の代替輸送を想定した訓練を継続して実施しています。

＊3つの力(被害想定に縛られない発想力・被災時の利益を考えた戦略力・現場の判断力)を養います。

◆訓練の対象者

太平洋側の港湾を利用する荷主等で、大規模災害時に事業継続を考える上で港湾の代替輸送に関心のある企業

＊例年、製品や原材料を取り扱っている荷主や物流関係企業のご担当者様などが参加されています。

◆訓練の概要

〈第一部〉代替輸送の手順を確認

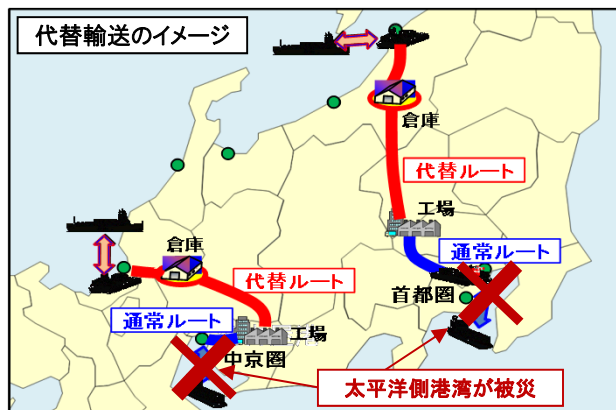
〈第二部〉災害時と同様な状況を設定し、その中で参加者は役割が与えられて、災害状況を模擬体験

◆訓練参加者(昨年度)のご意見 [原文のまま掲載]

「臨場感があって良い」/「自社での訓練でも取り入れたい」/「また参加したいと思います」

「確認と気づきで有意義な時間でした」/「ここまでリアルな演習は1社でやるにはなかなか難しい」

「異業種の方々と交流でき、大変勉強になり、有意義な時間を過ごせました」



「大規模災害時に商品を輸送するための行動マニュアルはありますか？」

『代替輸送手引書』を作成し、訓練参加者のご意見等を踏まえて更新しています。

＊訓練〈第一部〉において、『手引書(概要版)』(当日配付)を用いて代替輸送の手順を確認します。

「大規模災害時の情報収集源を把握していますか？」

港湾物流関係者を対象としたポータルサイト※(「北陸_広域バックアップ体制Web」)を開設しています。

※インターネットにアクセスするときの入り口となるウェブサイト

[主な掲載内容]

●『太平洋側大規模災害時における北陸地域港湾による代替輸送基本計画』

＊『手引書』の基となる『基本行動計画』を掲載しています。

●『代替輸送手引書』

＊関係企業等に利活用していただけるようWord文書で掲載しています。

●「航路情報」「物流関係者連絡先」「代替輸送モデルルート」等

＊平時も役立つ情報があるのでご覧ください。

北陸 広域バックアップ体制 Web

このサイトについて | プライバシーポリシー | お問い合わせ
<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/saigaiportal/index.html>

空を渡り、海を渡り、
みなとから広がる交流と連携

本サイトは、災害時の物流機能途絶を回避するため、北陸の港湾を代替輸送ルートとして検討する潜在ユーザーおよびサポートする港湾関係者を対象として、北陸地域への代替輸送に関する情報発信することを目的として設置するものです。

